

2008-06-30(月)

■もったいない!

ある調査では、家庭で出るごみを分類したところ、  
42%は本来食べられるはずの食品だったそうです。  
これらに、レストランなどから出る食べ残しや、  
コンビニなどから出る賞味期限切れ食材等を合わせると、  
食品全体の35%以上が捨てられていることになるそうです。

食料自給率は40%を切っているというのに、もったいないことこの上ありません。

幼少の頃、食べ物を残さないよう厳しくしつけられた私は、  
好き嫌いや食べ残しを平気とする人が多いことに、驚きと憤りを感じています。  
食べ物への感謝の気持ちをもう少し持つべきではないでしょうか。

たとえば食べ切れないと思ったら予め多い分を取り分けておくとか、  
表示の賞味期限が切れてもすぐに捨ててしまわず、  
自分の五感を使って確かめてみるとか、まずは一人ひとりが、  
食品の無駄な廃棄を減らすことにもっと関心を持ってほしいと思います。

(おたゆ)